

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 渡邊 源市
幹事 鈴木 聖三
広報・会報委員長 小林 英毅

No. 6

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

2016～2017年度

RI会長
ジョンF.ジャーム

今日の例会
第1607回 平成28年 8月30日(火)

《ガバナー補佐訪問》
柴田 幸男 ガバナー補佐
中村 重嗣 地区副幹事
加藤 慶人 分区副幹事

しばた ゆきお
柴田 幸男ガバナー補佐 紹介



生年月日 1944年(昭和19年)1月25日
事業所名 税理士法人 柴田税務会計事務所
事業所 代表社員 所長
〒461-0011
名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル6F
Tel 052-951-4646
自宅住所 〒465-0018
名古屋市名東区八前2-1315
Tel 052-718-2912
職業分類 経営相談

【ロータリー歴】

1998年 7月3日 名古屋北ロータリークラブ入会
2003年～2004年度 ニコボックス委員長
2004年～2005年度 新世代委員長
2005年～2006年度 副幹事
2006年～2007年度 幹事
2009年～2010年度 会員組織委員長
2010年～2011年度 会計
2011年～2012年度 米山記念委員長
2012年～2013年度 会長エレクト
2013年～2014年度 会長

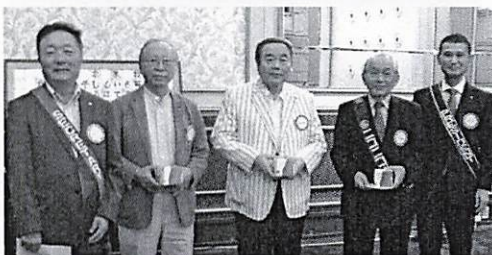
＜地区＞
2010年～2011年度地区副幹事

ロータリー財団
・マルチプルポールハリスフェロー
・ベネファクター

先回の例会

第1606回 平成28年 8月23日(火) 晴
友愛の日

- ◆我らの生業
- ◆四つのテスト
- ◆ビジター紹介 伊藤 有君 (東京銀座RC)
- ◆ゲスト紹介 牧野さんゲスト 牧野和佳奈さん
- ◆出席報告
会員 35(30)名 出席 26名
出席率 86.67 %
前々回 8/2 (修正出席率) 100 %
- ◆9月会員誕生日お祝い
谷口 優君(9/5) 三好 親君(9/6)
大口 弘和君(9/26)
- ◆9月ご夫人誕生日お祝い
鈴木 理之夫人(9/5) 笹野 義春夫人(9/16)
足立 一郎夫人(9/21) 山本 眞輔夫人(9/28)



おめでとうございます

鈴木幹事報告

- 1) 次週例会はガバナー補佐訪問例会になります。また例会前 11:30 より会長幹事懇談会 副会長・会長 エレクト・副幹事出席
例会後 13:40 よりクラブアセンブリー 理事役員・各委員長出席 時間厳守で宜しくお願い致します
- 2) 本日配布ご案内: 職場例会案内・優良従業員推薦
- 3) ワールド・フード ふれ愛のチケット申し込みについて

渡邊会長挨拶



健康寿命について

健康寿命とは、簡単に言うと人の世話にならずに自立して生きられる年数です。

2015年の健康寿命は、女性が77歳、男性が73歳。健康に長生きするためには、何を心がければよいか。

変調があればすぐに医療機関を受診するのは有効かもしれませんが、ところがアメリカの研究で、医療の果たす役割は10%程度で最大の要因は、「生活習慣と環境整備」であることが示されました。報告では7つの生活習慣が健康寿命延伸に有効と報告されています。

それは、①朝食を取る、②間食をしない、③喫煙しない、④飲酒は適量、⑤定期的な運動、⑥適切な体重管理、⑦良好な睡眠 です。

さらに、日本の研究では、モチベーションをもって自発的に社会参加することが重要であるとしています。

一方日本にはこれらの提言と関係なく元気に生活している人たちがいます。朝食を取っているか不明、おやつは好き放題、ヘビースモーカーもいる、飲酒は過量、運動しない、体重管理不良、夜鷹生活。この人たちが今日も元気に楽しく交流しているのを見るにつけ、ロータリーは素晴らしい健康寿命プログラムを提供していると実感しています。

会員3分間スピーチ

◆小山 雅弘君



3年程前3分間スピーチで、パリで宿泊した「ロワイヤルモンソー」という5つ星ホテルの話をしました。今回は日本のホテルの話をお聞かせして頂きます。

8月初旬、夫婦で信州へ旅行に行きました。一泊目は須坂にあります仙仁温泉「岩の湯」という岩風呂が有名な旅館に宿泊しました。接客、料理ともに素晴らしく、なかなか予約の取れない旅館だと聞いております。運よく予約が取れ、良いお湯に浸かって参りました。

次の日は白馬に行き「白馬リゾートホテル ラ・ネー

ジュ東館」に宿泊しました。「ラ・ネージュ」は“雪”という意味です。ここはお客さんに紹介頂いたのですが、素晴らしいホテルでした。リーフレットの案内によると「1998年冬季オリンピックが開催されたアルプスの街白馬。その白馬山麓の大自然の抱かれて美しく佇む東館は、ヨーロッパ貴族のマナーハウスのように優雅で気品に満ちた高原のホテルです。グランドホテルでは味わえない行き届いたもてなしと静寂をお楽しみ下さい。」とあるように、フランク・ロイド・ライトに傾倒したオーナーが3件目に作ったホテルだそうで、オーナー自らが建物から室礼、料理、接客までこだわりぬいた素晴らしいホテルでした。このような、こだわりのあるホテルを探しに、また旅に出たいと思います。

今回の2件、以下ご紹介致します

* 花仙庵 仙仁温泉 岩の湯
長野県須坂市大字仁礼 3159
TEL 026-245-2453

* 白馬リゾートホテル ラ・ネージュ 東館
長野県喜多安曇郡白馬村八方和田野の森
TEL 0261-72-7111

◆佐野 寛君



7月の中頃、BSの朝日で夜10時から1時間番組で「スバル360」の製造の苦心談がテレビで放送しておりました。飛行機の技術者が自動車を作る話でした。

その中に登場した一人に、工業デザイナーの佐々木達二先生が映像の中に出てきました。佐々木先生が

「スバル360」のデザインされておりました。当時は車のデザインは彫刻家と同じで粘土で原型を作って居りました。その「スバル360」の現物映像も写して居りました。

佐々木先生は私か勤めておりました七宝店に当時としては異質の作品制作を持ってこられました。船舶の室内パネルや映画館の壁面パネル、当時新しいビルの壁面装飾等に七宝作品の制作でした。花瓶が制作の中心でしたが特殊な七宝作品でした。

当時私は入社3年目でしたが、東京の先生の家に住み込みで金工技術の勉強に行っておりました。会社に特殊な仕事があると呼びだしがあり東京支店に出掛けておりました。

ある時、佐々木先生の家にお邪魔する事になり、社長同伴で伺いました。七宝パネル制作の打ち合わせでしたが、その時初めて先生にお会いしました。

昭和29年1月18日、東京は大雪でしたが、京浜の鎌田の駅に8時までに来るように言われ出掛けました。そこにいらしたのが佐々木先生、会社の営業、日本航空の鷹司氏でした。目的は羽田飛行場でした。

当日は日航が初めて外国に飛び、佐々木先生が日

航の飛行機に七宝のパネルを取り付ける仕事でした。私はそのお手伝いで、先生にお会いしたのは2度目でした。飛行機は「ダグラスDC10」で、60人~70人乗りの飛行機でシティーオブ京都と奈良の2機に取り付けました。当日は日航の親善飛行で、お昼頃サンフランシスコに向かって飛んで行きました。羽田はB29の改良型旅客機がいたが、ジェット機はいなかった。

当時、日本は船を利用して外国に出掛けていた時代です。横浜には2回程、船の中はどうなっているのか見学に出掛けました。埠頭には外国の客船が停泊していました。今の天皇がアメリカ留学の時利用された話を聞きました。アメリカの船で「ウィルソン号」と言う客船でした。フランスの船で「カンボジア号」が停泊していましたが、装飾が龍宮城の様な華麗な船室でした。

今考えると、当時カンボジアはフランスの植民地であった。此の船の中で電気掃除機を始めて観ました。イギリスの船で「アイオワ号」に乗った大型の船でしたが殺風景な船でした、何の装飾もない船でした。

当時ラジオドラマで「君の名は」で大変な時代で、テレビ放送が始まりプロレスが人気を集め、映画「ローマの休日」でヘップバーンのショートカットのヘヤーが流行しました。

マリリンモンローが新婚旅行で来日し、銀座で買い物をして頂き、帝国ホテルに納品をした営業マンが嬉しそうに話してくれました。

【9月 例会内容のお知らせ】

9月 6日(火) 12:30 3階 錦の間
 ◎卓話 「浄土への思いと現世の約束事」
 文学・歴史・散歩の主宰 小島 勝彦 様
 ビジター予定 Patrick Gaucher (パトリック・ジョーゼ) 君
 (ソシヤメタ RC)

9月 13日(火) 例会変更 ⇒ 11:00
 NHK 名古屋放送局
 ◎職場例会 NHK 名古屋放送局 10:45 集合

9月 20日(火) 12:30 3階 錦の間
 ◎友愛の日
 *例会終了後 第3回 理事役員会 3階 梅の間

9月 27日(火) 例会変更
 ⇒ 9月 26日(月) 12:30
 ウェスティンナゴヤキャッスル
 ◎ガバナー公式訪問3RC 合同例会
 (ホスト:東ローリークラブ)

第1回クラブ奉仕委員会開催

クラブ奉仕全体委員会

8月23日(火) 18:00 松楓閣

進行: 大口弘和(クラブ奉仕委員長)

出席者: 渡邊源市(会長) 鈴木聖三(幹事)

林 永芳	池森由幸	伊藤健文	樫尾富二
加藤重雄	小山雅弘	牧野登志子	松岡多加倫
三好 親	鍋野可幸	太田和孝	笹野義春
鈴木理之	竹内眞三	碓氷美佳	山本眞輔
吉田 玄			

親睦、ニコボックス、会場運営・設営、広報・会報、会員資格・増強、ロータリー情報、各長・副・委員 20名出席。クラブの活性化、ならびに会員増強について意見交換 Fire-side meeting が Fire up しました!



ニコボックス

小林 英毅

本日は囲碁会です。4F 桐の間でお待ちします

小山 雅弘

いい事が2つありました。1つは書道の松風会展で家内が名古屋市議長賞を受賞しました。

伊藤昌石先生に感謝! もうひとつはひみつです

鍋野 可幸

今日から“アラジンの魔法のボックス”を開設しました。“今日は何の日”何が飛び出すかご期待下さい

山本 眞輔

本年も日展の審査員をいたします。審査主任です。

いい作品を「入選」させ日展を充実するようにします。

ご高援をお願いします。ご夫人誕生日お祝い

渡邊 源市

オリンピックでたくさんの感動ありがとうございます。

三好 親

会員誕生日お祝い

大口 弘和

会員誕生日お祝い

谷口 優

会員誕生日お祝い

笹野 義春

ご夫人誕生日お祝い

鈴木 理之

ご夫人誕生日お祝い

福井 浩道

林 永芳

池森 由幸

伊藤 健文

樫尾 富二

加藤 重雄

牧野登志子

松岡多加倫

宮尾 紘司

太田 和孝

大谷 恩

佐野 寛

笹野 義春

鈴木 聖三

竹内 眞三

碓氷 美佳

吉田 玄

本日「処暑」です 26件

合計89,000円

冷えピタ君が当たった皆様おめでとう
 ございます



【ロータリーの友8月号】「よねやまだより」より
ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
— 奨学金制度編 —

★ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団であり、財源はすべて会員の寄付で成り立っています。日本独自の事業ですが、国際ロータリーからも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人を設立し、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

★支援の対象は外国人留学生

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2016年4月採用の奨学生数は全国で740人(枠)と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界124の国と地域からの留学生1万9,197人を支援しています(2016年7月現在)。

★交流を通じて国際親善と平和に寄与

事業の始まりは1952年、東京RCの当時の会長、古澤文作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。

「米山」とは、「日本のロータリーの父」と呼ばれた故・米山梅吉氏(1868～1946)のことです。タイから初めて奨学生を迎えたのは2年後の1954年。以降は、海外からの招へいではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界への門戸を開くなど、時代とともに変化しながらも、ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与するという事業の目的を今日まで貫いてきました。

★最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

★2017年、財団設立50周年を迎えます！

戦後、日本のロータリアンが設立し、受け継がれてきた米山記念奨学事業。半世紀にわたるこの事業の“資産”とは何でしょうか？ それは、「米山学友」と呼ばれる元奨学生たちの活躍であり、ロータリアンと奨学生が育んできた心の交流そのものではないでしょうか。

米山学友は世界を舞台に多方面で活躍しています。駐日大使や政府の通訳者、教育・研究者、何らかの形で日本とのつながりを持ち続けている学友がほとんどです。個人の活躍だけでなく、学友同士が日本国内、あるいは母国でつながりを持ち続ける「学友会」も大きな存在です。現在日本に33、海外に7つの学友会があり、それぞれ創意工夫しながら奉仕活動を実施しています。1年後の2017年7月、米山記念奨学会は財団設立50周年の節目を迎えます。さらなる発展のために、寄付だけでなく、一人でも多くの皆さんの情熱が必要です。

★奨学金の種類と特徴(2016年4月～17年3月)

ロータリー米山記念奨学金一覧	月額	期間	募集システム	人数
1. 学部課程(YU)	10万円	最長2年	指定校推薦	714人
2. 修士課程(YM)	14万円			
3. 博士課程(YD)	14万円			
4. 地区奨励	7万円	1年		15人
5. クラブ支援	14万円	6か月／1年	世話クラブ推薦	6人
6. 海外応募者対象	10万円(学部生) 14万円(大学院生)	原則2年	公募	11人
7. 海外学友会推薦	14万円(渡航・住居費別)	1年	海外学友会推薦	4人

■学部課程・修士課程・博士課程奨学金

—大学・大学院生対象のプログラム

大学(高専専攻科、専修学校高度専門士課程を含む)・大学院の正規留学生が対象で、採用者の9割以上を占めます。2016学年度は学部250人、修士287人、博士177人が採用されました。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。

■地区奨励奨学金

—大学・大学院以外の教育機関を対象とするプログラム
地区の裁量によって、短大・高専・専修学校などを指定校にし、在籍する留学生を1年間支援できる制度です。奨学金額が修士・博士課程の半額である代わりに、1人の枠に津2人を採用できます。近隣に大学がない地域にも世話クラブを広げることによって交流の機会が広がり、事業への理解を得られる効果が期待されます。

■クラブ支援奨学金

—現役奨学生のための期間延長プログラム

現役奨学生の世話クラブが、奨学期間を延長して支援したい場合に適用されるプログラムで、6カ月または1年の選択制です。延長期間の奨学金の半額を、世話クラブが負担します。博士号取得見込者の他、上級課程へ進学する現役奨学生が対象です。ただし延長によって地区の新規採用数が減るため、採用を控える地区もあります。

■海外応募者対象奨学金

—海外在住の日本留学希望者が応募できる制度

日本での留学先が決まっている外国人が、海外から個人で応募できるプログラムです。最も困難を伴う来日初年度から支援でき、奨学期間は2年間です。2017-18学年度は本プログラムの促進期間と位置づけ、従来のように希望地区に限定せず、全地区で募集します。すでに日本で学ぶ留学生からの選考ではないため、日本語がほとんど話せない応募者への対応が難しいという課題がある一方、国籍や人材の多様化を実現することができるプログラムです。

■海外学友会推薦奨学金

—海外学友会との協同プログラム

海外の米山学友会が、各国内で日本留学希望者を募集・選考し、推薦するプログラムです。2017学年度は前年同様、台湾に2人、韓国と中国に1人ずつの推薦枠が与えられます。すでに博士号を保持し、大学などに勤務する教授・上級研究者を対象に、日本での研究活動を1年間支援する研究助成プログラムです。この制度は、海外学友会の活性化や現地での米山奨学金の認知度向上にも役立っています。